

第204号
昭和42年4月1日
昭和29年10月15日
第3種郵便物認可
毎月1日発行
定価 部3円

4月の納税
 (市税) 固定資産税 第1期分
 (市税) 町税 第1期分
 (市税) 町税 第2期分
 納期 5月1日
 お忘れなく期限までに納付してください。
 小田原市納税貯蓄組合会

本報おだわら

発行所
小田原市役所
小田原市城内3番22号
編集兼発行人
藤岡照正
株式会社文通堂印刷
全世帯配布

小田原市の推計人口
3月1日現在
 147,591人
 26,286人
 74,371人
 人口を帯 34,904世帯
 人口を帯 228人
 人口を帯 100人
 人口を帯 56世帯
 世帯と比較

新年度算総額81億円にのぼる 条例など63議案も議決

市議会三月定例会は、まる三月九日開会されましたが、総額八十億八千五千万円にのぼる四十一年度の予算案をはじめ、小田原市職員の給与改定率に關する条例ほか二十八件の条例案、現年度決算、補正予算案等まじりにこれに關する例定案等、合計六十三議案の議決を終り、三月二十八日閉会となりました。



写真は市議会三月定例会本会議

市議会三月定例会は、まる三月九日開会されましたが、総額八十億八千五千万円にのぼる四十一年度の予算案をはじめ、小田原市職員の給与改定率に關する条例ほか二十八件の条例案、現年度決算、補正予算案等まじりにこれに關する例定案等、合計六十三議案の議決を終り、三月二十八日閉会となりました。

おもな条例の概要

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

機構改革で税務部を新設

三月定例会で議決された小田原市職員の給与改定率に關する条例は、三月九日開会された市議会三月定例会で、議決された。この議決は、三月九日開会された市議会三月定例会で、議決された。この議決は、三月九日開会された市議会三月定例会で、議決された。

事務機構の合理化を図る

三月定例会で議決された小田原市職員の給与改定率に關する条例は、三月九日開会された市議会三月定例会で、議決された。この議決は、三月九日開会された市議会三月定例会で、議決された。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

○ 児童障害児の福祉増進
 児童障害児に對し、保護者に毎年一萬二千元の補助金を支給する。
 ○ 小田原市児童福祉センターの設置
 児童福祉センターを、市立児童福祉センターとして設置する。

投票用紙の色 県知事……水色 県議会議員・市議会議員……白色
 ※ 選挙当日投票所で投票できない場合は、不在者投票の制度があります。くわしいことは市の選挙管理委員会へお尋ねください。
 ◎ 不在者投票の期間 県知事 3月21日～4月14日 県議会議員 3月31日～4月14日 市議会議員 4月18日～4月27日
 小田原市選挙管理委員会、小田原市明るく正しい選挙推進協議会

明るい選挙で住みよい郷土を！

みんなそろって投票しましょう

投票日 県知事・県議会議員 4月15日
 市議会議員 4月28日
 午前7時～午後6時

投票用紙の色 県知事……水色 県議会議員・市議会議員……白色
 ※ 選挙当日投票所で投票できない場合は、不在者投票の制度があります。くわしいことは市の選挙管理委員会へお尋ねください。
 ◎ 不在者投票の期間 県知事 3月21日～4月14日 県議会議員 3月31日～4月14日 市議会議員 4月18日～4月27日
 小田原市選挙管理委員会、小田原市明るく正しい選挙推進協議会

鈴木市長の新年度施政方針

調和のとれた市政を

都市・社会両面の開発を推進

三月九日に開かれた市議会三月定例会で、鈴木市長は、昭和四十二年度の直案と上程となつた新年度の施政方針を明らかにされました。鈴木市長は、この施政方針に、前期の市政の重要な女性委員も参加し、しかも大なる調和にある本市の現状を踏まえ、重要な位置を占めていく都市開発、すなわち、土木、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

道路交通網を整備

流通機構に大変革を期待



「一、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。」

昭和四十二年の市政の概況は、昭和四十一年の市政の概況に引き継がれ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。また、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

予算編成の方針

本市の財政は、昭和四十一年の市政の概況に引き継がれ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。また、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

本市の財政は、昭和四十一年の市政の概況に引き継がれ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。また、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

入

本市の財政は、昭和四十一年の市政の概況に引き継がれ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。また、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

本市の財政は、昭和四十一年の市政の概況に引き継がれ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。また、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

出

本市の財政は、昭和四十一年の市政の概況に引き継がれ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。また、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

本市の財政は、昭和四十一年の市政の概況に引き継がれ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。また、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

本市の財政は、昭和四十一年の市政の概況に引き継がれ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。また、都市開発、流通機構の整備、すなわち、道路、交通、産業経済等強力に実施する。各種の建設事業を早急に進め、一斉、教育文化、福祉等社会開発の面にも力を注ぎ、調和のとれた市政を推進していく旨を強調しました。

重障児に福祉年金 労働金庫預託金も増額

一民生一

重障児に福祉年金が支給され、小田原市の昭和四十二年一般会計当
初予算額は、一般計より一億七千七百九十万円、特別会計一億二千五百
八十九万円、企業会計七億七千九百五十九万円、繰入金一億二千五百
二万九千円、前年度より総額九億九千九百九十九万五千円におよび、予
定では、これらより一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額する
市では、これらより一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額する
るものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策
を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、
民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向
を見てみよう。

歳入

昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。

総額31億円台を突破 投資的経費は28%に

昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。

道路を重点的に整備

昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。

42年度一般会計当初予算の概要

昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。

歳入

款	予算額	予算総額に占める比率
市税	1,574,864	15.13
市税	2,361,384	23.02
市税	3,000,542	29.21
市税	199,192	1.93
市税	271,015	2.64
市税	107,229	1.04
市税	28,816	0.28
市税	9,310	0.09
市税	4,800	0.05
市税	20,000	0.20
市税	752,680	7.31
市税	124,234	1.21
市税	3,107,720	30.30
歳入合計	10,100	100.00

歳出

款	予算額	予算総額に占める比率
社会福祉	56,732	0.56
社会福祉	510,384	5.05
社会福祉	418,526	4.14
社会福祉	89,339	0.88
社会福祉	47,114	0.47
社会福祉	183,763	1.82
社会福祉	478,253	4.73
社会福祉	138,244	1.37
社会福祉	148,810	1.47
社会福祉	10,112	0.10
社会福祉	12,857	0.13
歳出合計	3,107,720	30.30

歳出

款	予算額	予算総額に占める比率
社会福祉	56,732	0.56
社会福祉	510,384	5.05
社会福祉	418,526	4.14
社会福祉	89,339	0.88
社会福祉	47,114	0.47
社会福祉	183,763	1.82
社会福祉	478,253	4.73
社会福祉	138,244	1.37
社会福祉	148,810	1.47
社会福祉	10,112	0.10
社会福祉	12,857	0.13
歳出合計	3,107,720	30.30

昭和42年度一般会計当初予算

款	予算額	予算総額に占める比率
社会福祉	56,732	0.56
社会福祉	510,384	5.05
社会福祉	418,526	4.14
社会福祉	89,339	0.88
社会福祉	47,114	0.47
社会福祉	183,763	1.82
社会福祉	478,253	4.73
社会福祉	138,244	1.37
社会福祉	148,810	1.47
社会福祉	10,112	0.10
社会福祉	12,857	0.13
歳出合計	3,107,720	30.30

昭和42年度一般会計当初予算

款	予算額	予算総額に占める比率
社会福祉	56,732	0.56
社会福祉	510,384	5.05
社会福祉	418,526	4.14
社会福祉	89,339	0.88
社会福祉	47,114	0.47
社会福祉	183,763	1.82
社会福祉	478,253	4.73
社会福祉	138,244	1.37
社会福祉	148,810	1.47
社会福祉	10,112	0.10
社会福祉	12,857	0.13
歳出合計	3,107,720	30.30

就労人員に105名増

昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。

防火水栓上新設

昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。

水道部からお知らせ

昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。

春ですぐ行ってみませんか

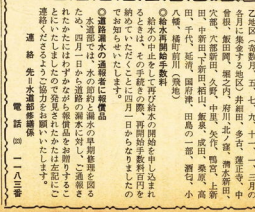
昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。

ハイキングに自然観察にそして写真会に

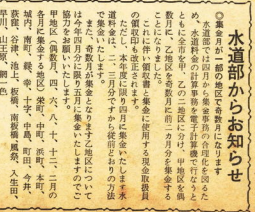
昭和四十二年の歳入は、前年度より一億七千九百九十九万九千九百九十九円増額するものに対していろいろの建設事業や市民生活の向上をはかる施策を積極的に進め、これらにより、これらにより、これらにより、これらにより、民生活に特別深い一役をこなす中心に新年度における市政の動向を見てみよう。



春ですぐ行ってみませんか
ハイキングに自然観察にそして写真会に
＜塔ノ峰 青少年の家＞
お問合わせ・小田原市教育委員会社会教育課 TEL 8423



水道部からお知らせ
本水道局は、水の供給と衛生の確保を図るため、四月一日から、本水道局の管轄区域内の各地区に、防火水栓を上新設いたします。



水道部からお知らせ
本水道局は、水の供給と衛生の確保を図るため、四月一日から、本水道局の管轄区域内の各地区に、防火水栓を上新設いたします。

校舎の増・改築を推進

新入学生 児童の血液型検査も実施

教育委員は、児童の血液型検査を推進し、本年四月七日から十七日まで、市内各小中学校の児童約三千二百名に血液型検査を実施した。検査結果は、A型が約三割、B型が約二割、O型が約三割、AB型が約二割と判明した。検査は、各校の保健室で行われ、各校の保健師が担当した。また、新入学生は、入学と同時に血液型検査を受けることになった。検査の結果は、各校の保健室に報告され、保健師が児童の健康状態を把握するに役立つと見られる。

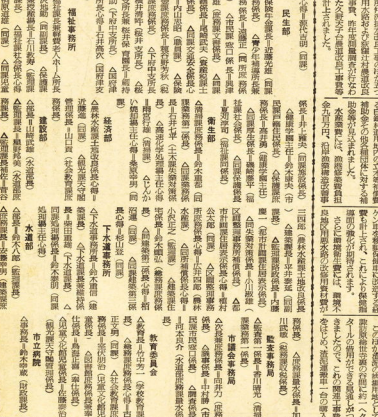
小田原の機能施設を整備

農業、用水路の改良も推進
農林水産
農林水産課は、二農工団体の要望を受け、小田原市小田原地区の用水路改良を推進している。この事業は、農業用水の確保と灌漑施設の整備を目的としており、本年度中に完成予定である。また、同地区の農産物の生産状況も調査している。

小学校六年生まで無料に日本防衛教育

し尿処理施設なども整備
衛生
市教育委員会は、小田原市立小中学校の六年生まで、日本防衛教育を無料で行うこととした。これは、防衛教育の普及と児童の防衛意識の向上を目的としている。また、市は、し尿処理施設の整備も進めている。市内各地に設置されたし尿処理施設は、環境衛生の向上に大きく貢献している。

市役所各部課配置図



人事異動

市長、市庁舎の改築工事
市長は、市庁舎の改築工事について、本年度中に完成させることを目指している。改築工事には、庁舎の耐震性の向上と機能の充実が目的とされている。また、市長は、市役所全体の業務効率化を図るための取り組みも進めている。

小田原市の教育

小田原市立小中学校の教育活動は、児童の学力向上と情操教育の充実を推進している。本年度は、各教科の授業改善と、課外活動の充実を図っている。また、市は、教育施設の整備も進めている。市内各地に設置された教育施設は、児童の学習環境の向上に大きく貢献している。

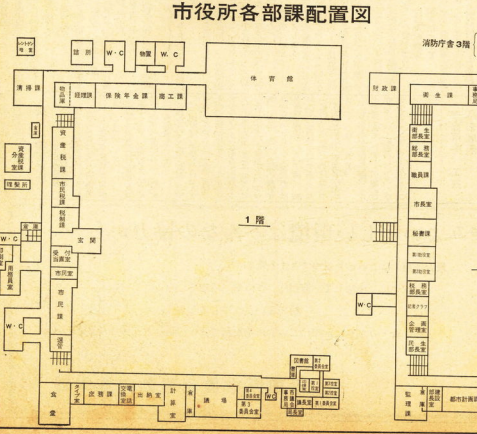
市役所各部課配置図

市長 市役所 市長の事務所
副市長 市役所 副市長の事務所
市長補佐 市役所 市長補佐の事務所
副市長補佐 市役所 副市長補佐の事務所
市長秘書 市役所 市長秘書の事務所
副市長秘書 市役所 副市長秘書の事務所
市長補佐秘書 市役所 市長補佐秘書の事務所
副市長補佐秘書 市役所 副市長補佐秘書の事務所
市長秘書補佐 市役所 市長秘書補佐の事務所
副市長秘書補佐 市役所 副市長秘書補佐の事務所
市長秘書補佐秘書 市役所 市長秘書補佐秘書の事務所
副市長秘書補佐秘書 市役所 副市長秘書補佐秘書の事務所
市長秘書補佐秘書補佐 市役所 市長秘書補佐秘書補佐の事務所
副市長秘書補佐秘書補佐 市役所 副市長秘書補佐秘書補佐の事務所
市長秘書補佐秘書補佐秘書 市役所 市長秘書補佐秘書補佐秘書の事務所
副市長秘書補佐秘書補佐秘書 市役所 副市長秘書補佐秘書補佐秘書の事務所
市長秘書補佐秘書補佐秘書補佐 市役所 市長秘書補佐秘書補佐秘書補佐の事務所
副市長秘書補佐秘書補佐秘書補佐 市役所 副市長秘書補佐秘書補佐秘書補佐の事務所

交通安全対策を強化

用品調達基金に500万円
交通安全対策を強化
市は、交通安全対策を強化するために、用品調達基金に500万円を充てることとした。この基金は、交通安全教育用品の調達や、交通安全施設の整備などに活用される。また、市は、交通安全意識の向上を図るための取り組みも進めている。

市役所各部課配置図



5月10日までに申告を

42年度 受益者負担区域決まる

本市が、下水道施設を、下水道法に基づき、受益者負担方式で実施することになり、受益者負担区域が、42年度に決まることになった。受益者負担区域とは、下水道施設の受益者が、その受益者の負担するべき区域のことである。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、受益者負担区域は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

危険なモノ

危険なモノは、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、危険なモノは、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。危険なモノは、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、危険なモノは、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

新しい橋の名称を

新しい橋の名称を、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、新しい橋の名称を、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。新しい橋の名称を、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、新しい橋の名称を、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

建設工事

建設工事の進捗状況は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、建設工事の進捗状況は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。建設工事の進捗状況は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、建設工事の進捗状況は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

遺族援護法が一部改正

遺族援護法の一部改正は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、遺族援護法の一部改正は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。遺族援護法の一部改正は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、遺族援護法の一部改正は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

市税の年度未滞納整理に協力

市税の年度未滞納整理に協力は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、市税の年度未滞納整理に協力は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。市税の年度未滞納整理に協力は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、市税の年度未滞納整理に協力は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

家庭用品、工芸品展示

家庭用品、工芸品展示は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、家庭用品、工芸品展示は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。家庭用品、工芸品展示は、下水道施設の受益者の負担するべき区域であり、家庭用品、工芸品展示は、下水道施設の受益者の負担するべき区域である。

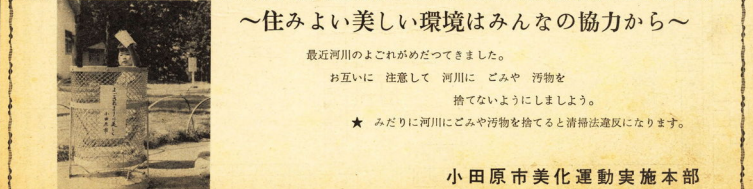
～住みよい美しい環境はみんなの協力から～

最近河川のごみがめだつてきました。

お互いに注意して 河川に ごみや 汚物を 捨てないようにしましょう。

★ みだりに河川にごみや汚物を捨てると清掃法違反になります。

小田原市美化運動実施本部





新学期は特に注意

子どもを交通事故から守ろう

新年度が始まり、各学校で入学式が行われ、新学期が始まりました。この新学期は、特に注意を要する時期です。交通事故の発生は、毎年多く見られます。子どもを交通事故から守るためには、学校、家庭、社会が協力して取り組む必要があります。

● 交通安全教育の徹底
 各学校では、交通安全教育を重点的に実施しています。児童会、少年団、青年団などを通じて、交通安全の意識を高める活動が行われています。

● 家庭での指導
 家庭でも交通安全の指導を徹底してください。特に、歩行者としてのマナー（横断歩道の渡り方、信号の守り方）と自転車乗りの安全（ヘルメットの着用、安全確認）を教えることが重要です。

● 社会での注意
 社会でも、子どもを交通事故から守るための取り組みが行われています。例えば、児童会館での交通安全教室や、交通安全教室の開催などです。

● 交通安全の意識を高める
 交通安全の意識を高めるためには、交通安全の知識を身につけることが大切です。交通安全の知識を身につけるためには、交通安全の知識を身につけることが大切です。

● 交通安全の意識を高める
 交通安全の意識を高めるためには、交通安全の知識を身につけることが大切です。交通安全の知識を身につけるためには、交通安全の知識を身につけることが大切です。

市教育長 岩瀬瀧氏が死去

本市の教育行政に尽力

本市教育委員会の岩瀬瀧氏が、昭和41年10月20日午後1時、脳血管障害のため死去されました。享年74歳。氏は、本市の教育行政に多大の功績を残されています。氏の子息は、現在本市で教育関係の仕事に従事されています。

健康づくりにご利用を

～ 体育館のご案内 ～

本市市民体育館は、市民の健康づくりのために、各種スポーツ活動の場を提供しています。本館は、市民の健康づくりのために、各種スポーツ活動の場を提供しています。

● 利用料
 大人：100円
 小児：50円
 学生：50円
 団体：お問い合わせください

● 利用時間
 午前9時～午後5時
 午後5時～午後9時

● 利用方法
 本館は、市民の健康づくりのために、各種スポーツ活動の場を提供しています。本館は、市民の健康づくりのために、各種スポーツ活動の場を提供しています。

図書館のご案内

本市図書館は、市民の文化生活を豊かにするために、各種書籍や資料を提供しています。本館は、市民の文化生活を豊かにするために、各種書籍や資料を提供しています。

● 児童化館
 児童化館では、児童の読書活動を支援するために、児童向けの本や資料を提供しています。

● 4月の自動車展
 4月の自動車展は、最新の自動車や自動車部品を展示しています。興味のある方は、ぜひお越しください。

奨学生20名を募集

受け付けは4月いっぱい

本市奨学生募集は、本市で学んでいる優秀な学生を対象に行っています。募集期間は4月1日までです。興味のある方は、ぜひお申し込みください。

● 募集対象
 本市で学んでいる中学生、高校生、大学生

● 募集内容
 奨学金、奨学給付金

● 申し込み方法
 本市教育委員会事務局へお申し込みください。

4月の木曜コンサート

本市市民体育館では、毎月4月の木曜日に木曜コンサートを開催しています。本回は、市民の文化生活を豊かにするために、各種音楽演奏を行います。

● 出演者
 市民音楽団、市民合唱団

● 演奏内容
 交響曲、室内楽、合唱

● 観覧料
 大人：100円
 小児：50円

自由にご覧ください

中央公民館では、市民の文化生活を豊かにするために、各種展示を行っています。本館は、市民の文化生活を豊かにするために、各種展示を行っています。

● 展示内容
 市民の文化生活を豊かにするために、各種展示を行っています。

● 観覧料
 無料

● 観覧時間
 午前9時～午後5時

子どもを交通事故から守る運動

4月1日～4月20日

- 車を運転するかたへ
 - ◇ ハンドル・ブレーキの点検は確実に
 - ◇ 子どもが横断のときは必ず1時停止を
 - ◇ 車を動かすときは回りの安全を確かめて
- 家庭のみなさんへ
 - ◇ 手をあげて横断歩道を渡る習慣を子どもにつけさせよう
 - ◇ 車の直前・直後の横断をさせない
 - ◇ 自転車の2人乗りは、やめさせよう

小田原市・小田原市教育委員会・小田原警察署・小田原地方交通安全協会